

市民の声を市政に

Kirishima City

18人がより良い市政を目指して

一般質問

霧島市議会 中継

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。すべての質問と回答は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

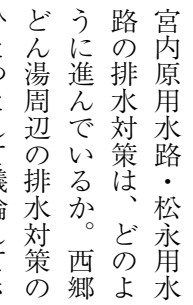
市周辺部の総合支所廃止計画は中止を



問 「財政が厳しい」ことを理由に、霧島市が2018年4月から実施を予定する「総合支所の機能を縮小した出張所」計画は、高齢化が進む市周辺部の過疎化に拍車をかける政策と考える。新市長として、その見直しを求めるがどうか。

答 総合支所管内における人口減少や高齢化の進展などによる行政需要への適切な対応が求められている。市民からも様々な声が寄せられており、「当面の間、総合支所方式を維持する」ことを基本方針とする。

天降川周辺の豪雨災害対策の進捗は



問 昨年の豪雨災害で被害を受けた天降川周辺、宮内原用水路・松永用水路の排水対策は、どのように進んでいるか。西郷どん湯周辺の排水対策のひとつとして議論してきた「貯留施設」計画を示せ。

答 現在、宮内原用水路と松永用水路に地区外から流入する雨水を放水する改修工事を実施している。新川水門や湯田放水路、牟田放水路も遠隔操作を含むすべての工事を今年度内に完成する。西郷どん湯周辺の排水施設の機能を向上させるための事業用地も取得する交渉を進めている。

その他の質問
・国保税引き下げの継続について
・新燃岳噴火による災害対策について

市長のマニフェストに込めた思いと具体策、方向性を示せ



問 公平・公正かつ透明感のある行政の充実、費用対効果のある公共事業の促進、現在の施設の有効活用とリニューアルの方向性を示せ。

答 市民参画の推進による市執行部、議会、市民の意見総和のもと、積極的な情報公開や市民ニーズの確かな把握に努める。公共事業は、費用対効果、必要性の判断、効果的・効果的な行政経営に努める。健全財政の堅持と適切な公共サービスの両立に向け「霧島市公共施設管理計画」を踏まえ、市民ニーズに対応する施設整備は、既存施設

子ども医療費は18歳まで拡充を



問 子どもの貧困は、社会問題となっている。子育てで真つ最中の世帯への支援など、どう取り組むのか。また、子ども医療費助成は、18歳まで拡充すべきではないか。

答 介護保険会計の基金（貯金）は、約6億6千万円である。年金暮らしの負担軽減策のために、基金の一部を活用すべきではないか。

答 平成30年度から32年度の第7期介護保険計画の策定作業を進めている。この策定にあたっては、国県の財源や介護給付費準備基金を活用して適切に保険料を設定することになっている。

その他の質問
・地域活性化対策について
・臨時職員の処遇改善について



介護保険会計の貯金約6億6千万円を負担軽減に

問 平成28年度決算では、

鹿児島国体開催への取組は大丈夫か



問 平成29年度における先進地視察等は、どのような状況だったか。何か課題はあるか。

答 本年10月に、愛媛国体を視察した。本市での開催を想定し、審判・監督会議の運営、競技会場までの交通手段、練習会場、控室や駐車場などの設置状況、スタッフの役割や対応、おもてなし状況など、様々な観点から調査した。その結果、観客席や駐車場の不足の対応、観客の送迎方法、開催種目が多いことによる担当職員の確保の方法などの課題が出てきた。

問 施設整備については、どのような進捗か。

今後の予定も示せ。

答 国体開催に向け指摘を受けた部分の施設整備は、年次的に取り組んでいく。現在は、陸上競技場のメインスタンド改修を行っており、平成30年5月までに完了する予定である。

不作付農地は適正に管理せよ

問 不作付農地に雑草等が繁茂して、周辺住民に迷惑をかけている。市として十分対応できているか。

答 いろいろな苦情や相談が寄せられている。土地所有者等に草払いなど、定期的な管理をお願いしているが、善処してもらえないものもある。今後も適正管理を啓発していく。

その他の質問
・子育て支援について

交通渋滞対策を急げ



問 市長は基本方針で、交通渋滞対策を掲げているが、本市の道路事情をどのように認識しているか。また、その対策はどうか。

答 平成25年1月の鹿児島県交通渋滞対策協議会の公表によると、県道日当山敷根線の向花五差路交差点を含む6箇所が本市の主要な交通渋滞箇所とされており、そのほとんどが国県道である。

対策として、平成25年度から県施行による奈良田団地交差点前から第一工業大学を通り県道国分霧島線につながる街路新町線と、それに接続する本市施行の国分中央高校西側に位置する街路山崎

の積極的な活用を図る。

問 「子育て環境日本一」のまちづくり、未成熟な都市環境や社会基盤の整備の方向性を示せ。

答 安心して子どもを産み育てる環境づくりや、子どもの成長段階に応じた多様な施策の展開により、出産から育児、就学、就職、結婚までを総合的に支援する。

近年多発する局地的な大雨や台風の際に、単人姫城地区や国分中央地区など、冠水問題が発生しており、治水対策に積極的に取り組む。また、幹線道路の渋滞対策や、交通弱者の移動手段の確保等に向けた公共交通ネットワークの形成に努める。



線の整備を進めている。新町線と山崎線の整備に伴い、向花五差路交差点や県道国分霧島線への交通量が軽減され、この地域における交通渋滞対策が図られるものと考えている。

安心できる医療体制の充実を求める

問 本市の重症救急患者に対する二次救急体制はどのようなになっているか。

答 特に緊急性が高い心疾患や脳血管疾患については、市立医師会医療センターを中心に複数の医療機関において「循環器救急輪番制」と「脳外科救急輪番制」を設け、専門的な治療が受けられる救急医療体制を整えている。